

新治西部地区

新治西部地区別計画推進委員会

地域

新治町、十日市場町、長津田みなみ台6・7丁目の一部 (十日市場団地地区を除く)

緑区の西北に位置し、地区の北側は恩田川を境に青葉区に隣接しており、新治町、十日市場町（十日市場団地地区を除く）、長津田みなみ台6丁目の一部（十日市場町自治会）、長津田みなみ台7丁目の一部（後谷地区）で連合自治会を形成しています。

十日市場駅南側を中心に、公共施設、商業施設、医療機関やマンションなどの集合住宅を中心とした住宅が密集している一方、横浜線北側や新治町には農地や新治市民の森などの緑地も多く残されています。

<主な関連施設>

最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：新治小学校、十日市場小学校

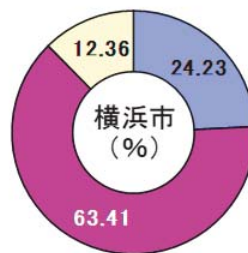
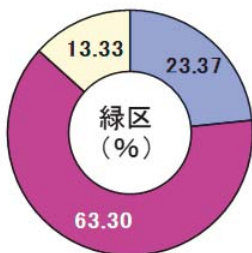
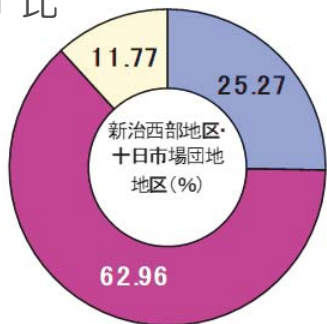
地域ケアプラザ等：横浜市十日市場地域ケアプラザ

<年齢区分別人口>

人口比

平成30年(2018年)9月末

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)



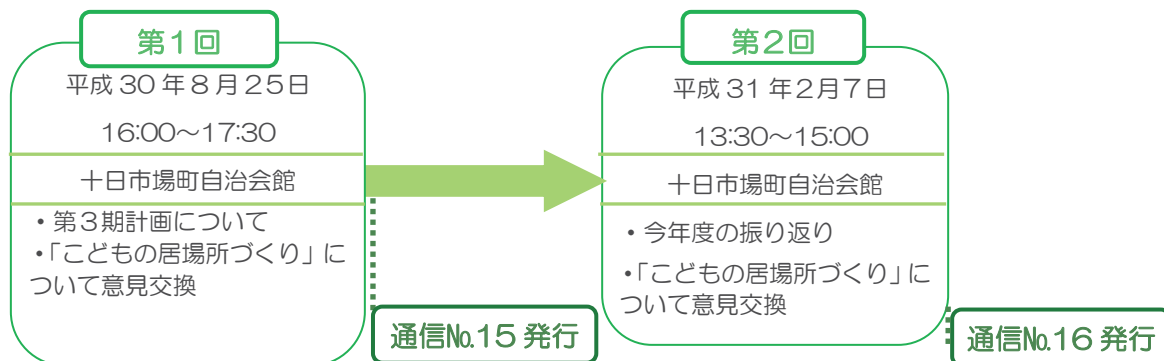
75歳~	2,749人
65~74歳	2,126人
15~64歳	12,149人
6~14歳	1,466人
0~5歳	805人
合計	19,295人

75歳~	20,959人
65~74歳	21,270人
15~64歳	114,390人
6~14歳	15,061人
0~5歳	9,037人
合計	180,717人

75歳~	454,366人
65~74歳	452,709人
15~64歳	2,374,255人
6~14歳	285,140人
0~5歳	177,762人
合計	3,744,232人

地区別計画推進委員会の開催状況

注) 上記の人口データには、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台7丁目のデータを集計しています。



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成30年度地区別計画推進状況



新治西部地区



地域での「つながり」を深め
顔の見える元気の街を目指して！

新治西部地区では、様々な世代が集い、知り合うきっかけづくりに取り組んでいます。

4回の検討委員会を経て、ついに始動！
「こども村」がオープンしました！！



十日市場団地地区と合同で検討を続けていた、「こどもの居場所」が、十日市場地域ケアプラザで12月にオープン。多世代参加・交流型の居場所としてこどもの居場所づくりだけに留まらず、地域住民の交流の場として検討・整備を続けます。近年、子どもに関する“子どもの生活力低下”“朝食を食べていない児童”“こども食堂”などの話題も多く、地域でも関心が高まってきているところでした。

そのような中で、“子ども”を焦点に、地域の関係者が参加する『十日市場駅周辺「こどもの居場所づくり」検討委員会』が立ち上がり、委員会での検討を経て、ついに12月1日にオープニングを迎えました。当日は十日市場地域ケアプラザを会場とし、こどもが40名超、大人が保護者や関係者等で40名超と大賑わいでした！



(写真：「こども村」の様子)

「農」の取組を通じて、地域でのつながりづくりや
子どもから高齢者までの交流を進めています！

十日市場の『いちば』は、夏と冬の年2回開催し、毎回出品した農産物が完売するなど、他地区からも人が訪れるなど、大変盛況でした。また、小学校での「農業体験」や「後谷菜園」の取組など、農地や空き地を活用し、地域をつながりづくりに取り組んでいます。

(写真：「いちば」の様子)



これからも様々なイベントや世代を超えた交流を通じて、
みんなの顔が見える、元気の街になるような取組を進めます！

新治西部地区別計画推進委員会



新治西部地区 地区別計画推進委員会
平成30年10月発行 第3期 No.5 (通算 No.15)



新治西部地区 地区別計画推進委員会 通信

第1回 みどりのわ・ささえ愛プラン 新治西部地区別計画推進委員会を開催しました！



平成30年8月25日(土)に、十日市場町自治会館において「平成30年度 第1回 みどりのわ・ささえ愛プラン 新治西部地区 地区別計画推進委員会」を開催しました。

当日は、田中委員長のあいさつではじまり、十日市場団地地区と連携し、地区別計画推進委員会の専門委員会として立ち上げされた『十日市場駅周辺「こどもの居場所づくり」検討委員会』の概要について報告がなされた後、「こどもの居場所づくりについて」をテーマに、全員でグループワークを行いました。この通信では、その内容の一部をご紹介します！

「こどもの居場所づくり」検討委員会が立ち上がりました！！

“こども”を焦点に、十日市場団地地区とも連携して、両地区で支援に関わる関係者が会する協議体を作っていこうという動きが始まり、この度『十日市場駅周辺「こどもの居場所づくり」検討委員会』が立ち上がりました。

●十日市場駅周辺「こどもの居場所づくり」検討委員会（協議体）のイメージ

メンバー

小・中学校を含む両地区の委員会委員(代表)に加え、地域で子どもの支援に関わる関係者、エリア内の公的機関等の代表者等で構成



本委員会では地域特性を生かした“多世代参加・交流型”の「こどもの居場所」の設置を目指しています。まずは、身近な地域福祉保健の交流拠点である「十日市場地域ケアプラザ」を活用した月数回実施する“居場所”を第一候補としながら、担い手・回数・サービスなど、今後、具体的な検討を進めていきます。



十日市場小学校 佐々木教諭より、教職員向けに行った「こどもの居場所づくり」に関するアンケート結果の報告がありました！！

- 学習と昔遊びをこども達に提供をしてくれる場があったら良い。
- 大学生や地域の方に囲碁や将棋、学習をサポートしてもらい交流する場にもなれば良い。
- 登下校時の見守り、自転車の運転ルールやゲームセンターでの見守り強化。
- 地域のみんなで地域のこどもを育てていく、その意識が大切。
- こども達が地域の人と一緒に清掃活動に参加することも役割を担っていくことになる。



「こどもの居場所づくり」をテーマとした話し合いで出された意見の一部をご紹介します。



・こどもと高齢者が一緒に取り組める場を作るのが一番良いのではないかな。高齢者が戦争の体験談を話してもらったり、折り紙が上手な人に教えてもらったり、高齢者が得意なことをこどもたちに教える場所があればよい。

- ・新しい居場所を立ち上げることは簡単だが、担い手の負担、続けていくことの大変さを考えると、いまある行事を再認識、活用していくことが大事だと考える。
- ・大人同士のつきあいがうまく出来るようになると、こどももそれに付随してくるのではないかな。大人が孤立すると、こどもも孤立する。
- ・今は顔を知らない大人が挨拶しても、こども達が返事をしないこともある。顔と名前を知ってもらい、挨拶が出来る関係になることから関係作りを始めたい。
- ・居場所には「物理的な居場所」、「精神的な居場所」と2つある。昔は親族が近くに多くいたため、相談相手がたくさんいた。今は気軽に話せる信頼出来る人を作るのも大変。日常的に高齢者とこどもが関わって、相談できる、昔の話を聞けるような場所ができることが理想。

最後に、田中委員長からは、

「今ある行事を再認識し、参加してもらうことは基本だが、中学生には行事を手伝ってもらうことも重要。同学年だけではなく、年長、年少者と違う学年のこども立ちが交流していくことが大事。

「こどもの居場所＝こどもと親が自由に集まれる場所」という発想も良い。これからも議論を重ね、具体的に考えていきたい」とまとめられました。



【平成30年度新治西部地区 地区別計画推進委員会】

推進委員会メンバーは、連合自治会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区保健活動推進委員会、消防団、老人会、スポーツ推進委員、青少年指導員、防犯部、十日市場中学校、十日市場小学校、新治小学校などから構成されています。

<連絡先>

新治西部地区 地区別計画推進委員会事務局
緑区区政推進課 (TEL) 930-2218



新治西部地区 地区別計画推進委員会
平成31年2月発行 第3期No.6 (通算No.16)

新治西部地区 地区別計画推進委員会 通信



第2回 みどりのわ・ささえ愛プラン 新治西部地区別計画推進委員会を開催しました！



平成31年2月7日（木）に、十日市場町自治会館において「平成30年度 第2回 みどりのわ・ささえ愛プラン 新治西部地区 地区別計画推進委員会」を開催しました。

当日は、第1回地区別計画推進委員会の振り返りや様々な地域での取組を共有するとともに、新治西部地区の地区別計画に掲げた目標「地域の中での孤立化をなくし、みんなの顔が見える環境を目指します」の推進に向け、昨年12月に十日市場団地地区と共に立ち上げた「こども村」のこれまでの取組報告を受け、「こどもの居場所づくり」の今後について参加者全員で話し合いを行いました。この通信では、その内容の一部をご紹介します！

地域における3つの活動紹介がありました！

1

十日市場の「いちぼ(冬)」の開催について

11月24日と12月1日、8日に「いちぼ」を開催！今回も大繁盛で野菜や米が1時間でほぼ完売となりました。農家では当たり前にある野菜も、売りに出すと「めずらしい」といってくれるものもあり、運営側にも新しい発見がありました。



▲ 当日の様子

2

「にいほる里山秋祭り」の開催について

11月18日、「にいほる里山秋祭り」を開催。前回より参加は4団体増えています。コンサートやボランティアによる和太鼓、ボーイスカウトによるボルダリング、コースターづくり、玉こんにゃくの販売など様々な模擬店が出て、とても盛会となりました。

3

「後谷町民のつどい」の開催について

11月24日に初開催となる「後谷町民のつどい」を開催しました。長寿会の協力も得て、沢山の豚汁を事前に準備したが、茶飯も含めてすべて売り切れるぐらいに多くの人が参加してくれました。会場は大変盛況で、こんなにも大勢の人が集える場を開催できたことは本当によかったと感じています。

この後、十日市場地域ケアプラザで開催されている「こども村」の取組が報告され、前回の地区別計画推進委員会でも議論した「こどもの居場所づくり」について改めて考えるため、参加者全員で話し合いました。

裏面へつづく



話し合いで出されたご意見の一部をご紹介します



- 話が出てから半年あまりで実現に至る地域の力はすごいと感じています。子どもの居場所だけでなく、大人の居場所にもなって、世代間のふれあいの場になると感じました。学校でも、子供たちに宣伝していきたい。
- 中学生はボランティアとしても協力できると思います。ここで育った子が、後々スタッフとして戻ってくるなど、長い目で広がりを見据えて展開していくことを願っています。
- 12月に参加しましたが、子供たちが輝いている姿が印象的でした。必要があれば声をかけるが見守っている姿勢で、これからも長く取組を続けていきたいと思います。
- 最初としては予想外に多くの方が来てくれたという思いです。やっていくうちに色々な課題も出てくるが、ひとつずつ解決していきたい。
- 子どもを取り巻く環境は複雑化しており、地域のつながりも昔より希薄化しています。居場所をつくることのみが、答えかは分かりませんが、参加した子どもが生き生きしているので、そうした安心できる居場所の必要性を感じています。大人とのつながりもよい影響を与えていると思います。
- 地域には様々な分野の専門家もいるため、各自の得意なことを生かしてボランティアできるとよいと感じました。
- 色々な行事の中で、興味のある子に対応できる大人がいるとよいと思います。登録制度でボランティアを募集してみたらどうでしょうか。子どもの居場所が月2回しかないのは、いつ悩みが生じるか分からない中で少ないので、居場所以外に困ったら相談できる場所が日常的にあるとよいと感じました。
- 困ったらまず地域ケアプラザへ足を運んでもらえればと思います。地域ケアプラザは高齢者が多いイメージの施設だが、今回の取り組みで子供がケアプラザに来ることで高齢者も笑顔になれ、地域に開かれた良い施設になりつつあると感じています。



最後に、田中委員長から、「短い準備期間ではあったが、「こども村」の取組がスタートできてよかった。世間では児童虐待関係のニュースが日々報道されていますが、地域においても常に相談に乗ってくれる人や場所があることが大事だと考えています。今後も皆様の協力を得ながら、より一層有意義な取組にしていきたいと思います。」とまとめられました。



←プランの情報は動画でも紹介中です。



▲ 田中委員長

新治西部地区 地区別計画 2つの目標

- ☆地域の中での孤立化をなくし、みんなの顔の見える環境を目指します。
- ☆地域情報を多くの人に届けるため自治会加入を促進します。

【平成30年度 新治西部地区 地区別計画推進委員会】

- 推進委員会メンバーは、連合自治会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区保健活動推進委員会、消防団、老人会、スポーツ推進委員、青少年指導員、防犯部、十日市場中学校、十日市場小学校、新治小学校などから構成されています。

＜連絡先＞

新治西部地区 地区別計画推進委員会事務局
緑区市政推進課 (TEL) 930-2218